

知的障害者

災害時に…

知っておきたいポイント



1 周囲の状況を伝える。

誘導の指示が分からず、迷っている人がいたら、声をかけて、周囲の状況や指示の内容を伝えます。

2 付き添って誘導する。

避難誘導の指示が理解できないときは、付き添って安全な場所へ誘導します。

コミュニケーションのポイント

①安全な場所で落ち着かせる。

パニックを起こす人も多いので、「大丈夫」「助けにきたよ」などと声をかけ、安全な場所に避難させた上で、落ち着かせてください。

②短く、ゆっくり話す。

ひとつひとつの言葉が聞き取りやすくなり、何を言われているか理解しやすくなります。

③具体的に、わかりやすい言葉で伝える。

「手伝って」を「〇〇をして」、「少し」を「〇分くらい」など、具体的に伝えることで、より伝わりやすくなります。

④身振り・絵・写真・メモなどを使う

わからない言葉や文字があっても、理解しやすくなります。



普段の準備で対応できること

「コミュニケーションボード」

コミュニケーションボードは、絵記号や、写真などを用いて、自分の意思を指さすだけで伝えることができ便利です。